

令和4年度 第10回

# 強度行動障害支援者養成研修講座

## 実践研修

### 募集要項

厚生労働省基準 愛知県知事指定



〒478-0047 知多市緑町 12-1  
知多市市民活動センター 1階  
TEL0562-33-1631 FAX0562-33-1743

# 学 則

- ア 研修事業者の名称、指定番号、所在地及び電話番号  
特定非営利活動法人地域福祉サポートちた(愛障133号)  
愛知県知多市緑町12-1 知多市市民活動センター1階 TEL:0562-33-1631
- イ 研修の種類 強度行動障害支援者養成研修実践研修
- ウ 研修の目的  
基礎研修を修了した者で、強度行動障害を有する者に対し、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的として行われるもの
- エ 研修の実施方法 対面
- オ 実施場所 講義・演習 知多市市民活動センター会議室1.2(〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1)
- カ 実習施設 なし
- キ 募集期間 2023年1月6日(金)～2023年2月24日(金)まで
- ク 研修実施日及び修業期間  
実施日 2023年3月5日(日)、12日(日) 修業期間 2ヶ月以内
- ケ カリキュラム及び使用する教材  
カリキュラム(別添1)、使用する教材・・・強度行動障害のある人の「暮らし」を支える  
(特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク監修)中央法規出版
- コ 講師氏名及び担当科目  
別添1の通り
- サ 研修修了の認定方法  
講義 (全出席と感想レポートの提出)  
演習 (全出席と感想レポートの提出)  
上記の講義、演習をみたした者については、修了証書及び修了証明書(携帯用)を交付する。
- シ 免除科目 なし
- ス 受講資格 ①+②または①+③  
① 強度行動障害支援者養成研修基礎研修修了者であること  
② 知的障害者、精神障害者、障害児の直接支援業務に「3年以上」従事した者であり、かつ指導者的立場にある者  
③ (行動援護ヘルパーとして従事予定の方)知的障害者、精神障害者、障害児の直接支援業務に「1年以上」従事した者

セ 受講定員

強度行動障害支援者養成研修実践研修 40名

ソ 受講手続

- ①受講申込書を郵送にて提出 提出期限(2023年2月24日(金)必着)  
(電話・FAXでの受付は行っておりません。ご了承ください。)
- ②受講が可能になった方へ入金先をメールまたはFAXにてご連絡いたします。
- ③受講料の入金確認後、受講確定となります。

タ 授業料、実習費など受講者が負担すべき費用

授業料 20,900円(税込み)(テキストが必要な方は別途3,520円(税込み))

メールまたはFAXにて入金先をご連絡いたします。振込期限(2023年2月28日(火))までにご入金をお願いいたします。振込期限までに入金がない場合はキャンセルとさせていただきます。

※入金後のキャンセル料について

(1) 研修開始日の7日前まで	0%(但し、振込手数料はご負担いただきます。)
(2) 研修開始日の6日前から前々日まで	1,000円
(3) 研修開始日の前日	受講料の50%
(4) 研修開始日以降	受講料の100%

チ 研修欠席者に対する補講の方法及び補講に係わる費用などの取扱い

原則として補講は行わない。但し、やむを得ない事情と認めた場合はサポートちた主催で修業年限内に開催する講座で補講ができるものとする。

ツ 修了証明書を紛失・毀損した場合の再発行の取扱い

紛失・毀損した時点で、サポートちたへご連絡ください。賞状型修了証、カード型修了証それぞれ各1通につき、1,000円(税込み)の再発行手数料をいただきます。

テ 研修修了者名簿は、「特定非営利活動法人地域福祉サポートちた」において原本は管理され、その写しを、愛知県知事に提出される。

ト 研修の延期・中止等の不慮の事態における養成研修の継続及び苦情等に対する対応等

申込状況によっては不開講又は延期になる場合があり、不開講の場合は全額返金、延期の場合は、受講生の申し出によって受講料を全額返金するものとする。その際の振込手数料はサポートちたが負担する。この講座に対する苦情等は、特定非営利活動法人地域福祉サポートちたで対応いたします。

連絡先 TEL : 0562-33-1631 FAX : 0562-33-1743

E-mail : spchita@ams.odn.ne.jp

担当者 高熊 仁美

営業時間 月～金 9:00～18:00

台風及び雪等による警報が発令されたる場合

7時に警報が出ている場合：午前の講義は中止

10時に警報解除された場合：午後の講義を開始

☆講座中止になった場合は、別日程で開催

日程	時間	科目名	科目番号	時間	講師氏名
1日目 2023年 3月5日(日)  知多市 市民活動 センター	9:10~	受付 オリエンテーション			事務局
	9:30~11:30	強度行動障害がある者へのチーム支援(講義)支援を組み立てるための基本	12111	2	林 大輔 (〔社福〕大府福祉会)
	休憩(10分)				
	11:40~12:40	強度行動障害がある者へのチーム支援(講義)組織的なアプローチ	12111	1	出口 晋 (NPO法人ゆめじろう)
	12:40~13:10	強度行動障害と生活の組み立て(講義)チームによる支援の実際	12112	0.5	坂本 ちひろ (NPO法人ゆめじろう)
	昼 休 憩(60分)				
	14:10~17:20	障害特性の理解とアセスメント(演習) 休憩10分含む	12211	3	神田 健司 (NPO法人あい) 出口 晋 (NPO法人ゆめじろう)
2日目 2023年 3月12日(日)  知多市 市民活動 センター	9:30~12:40	環境調整による強度行動障害の支援(演習) 休憩10分含む	12212	3	土肥 克也 (NPO法人PakaPaka) 靱山 えり (一般社団法人NEWS)
	昼休憩(60分)				
	13:40~15:10	記録に基づく支援の評価(演習)	12213	1.5	奥山 善仁 (株式会社あいぼ) 小濱 麻美 (一般社団法人みずなぎ)
	休憩(10分)				
	15:20~16:20	危機対応と虐待防止(演習)	12214	1	小濱 麻美 (一般社団法人みずなぎ) 奥山 善仁 (株式会社あいぼ)
	~16:30	まとめ 修了式		12	

1日目6.5時間 2日目5.5時間

# 講師一覧

別添様式3

講師氏名	現職、保有資格、実務経験	担当番号、担当科目名	
林 大輔  (専任・兼任)	現職 (社福)大府福祉会たくと大府	12112	強度行動障害の生活の組み立て
	資格 社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員	12214	危機対応と虐待防止
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 24年7ヶ月	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
出口 晋  (専任・兼任)	現職 (特)ゆめじろう 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 介護福祉士 介護支援専門員	12213	記録に基づく支援の評価
	相談支援専門員	12214	危機対応と虐待防止
	経験 36年7か月	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
		12211	障害特性の理解とアセスメント
神田健司  (専任・兼任)	現職 (特)あい	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
	資格 ホームヘルパー2級	12211	障害特性の理解とアセスメント
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	経験 19年5か月	12214	危機対応と虐待防止
土肥克也  (専任・兼任)	現職 (特)PakaPaka 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 社会福祉士 介護福祉士	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 18年7か月	12211	障害特性の理解とアセスメント
		12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
坂本ちひろ  (専任・兼任)	現職 知多南部相談支援センターゆめじろう 相談支援専門員	12112	強度行動障害の生活の組み立て
	資格 介護福祉士、社会福祉士		
	経験 22年7か月		
小濱麻美  (専任・兼任)	現職 (一社)みずなぎ 看護職員、介護職員	12214	危機対応と虐待防止
	資格 介護福祉士、看護師	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 14年7か月		
榎山えり  (専任・兼任)	現職 (一社)NEWS 児童発達管理責任者	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 社会福祉士		
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)		
	経験 13年7か月		
奥山善仁  (専任・兼任)	現職 (株)あいぼ 生活介護サービス管理責任者	12213	記録に基づく支援の評価
	放課後等デイサービス支援員	12214	危機対応と虐待防止
	資格 精神保健福祉士、介護福祉士		
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)		
	経験 18年7か月		

令和5年1月吉日

受講生の皆様へ

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた  
担当：高熊 仁美

### 強度行動障害支援者養成研修講座（実践研修）課題提出について

このたびは強度行動障害支援者養成研修実践研修にお申込みいただきましてありがとうございます。実践研修においては、支援現場の経験をふまえて、障害のある人への支援内容を自ら組み立て、チームに指示を出す人たちを想定しています。強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）で学んだ内容を確認するため、下記の課題を提出していただきます。

### 記

○匿名化した障害児者の事例（1事例）を冰山モデルに落とし込み、受講申込書と一緒に提出してください。同事業所からの参加に関わらず、1人1事例提出してください。

※冰山モデルとは、障害のある人の課題となっている行動を冰山の一角として捉え、冰山の一角に注目するのではなく、その水面下の要因に着目して支援の方法を考えること。

○添付の冰山モデル記入例を参考に、白紙のワークシートをご使用ください。

以 上

〈お問い合わせ先〉

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 担当 高熊 仁美

〒478-0047 知多市緑町 12-1 TEL：0562-33-1631

FAX：0562-33-1743

# ワークシート(冰山モデル)記入例

- 課題となっている行動を書きます。

例) 人を叩く

Aさんが「後で貸してあげる」とはさみを先に使ったら突然BさんがAさんを叩いた。

## 【本人の特性】

- 言葉で思いを表現することが難しい
- 相手の気持ちを察することが苦手
- 「あとで」のイメージができない
- 人の使っている物と相手の使っている物の区別が苦手
- 言葉より先に手が出てしまう

## 【環境・状況】

- 「あとで」について本人が理解できる形の提示がなかった
- 自分の使っているもの、友達の使っているものに区別のない環境

## 行動支援計画

- 「あとで」ではなく、支援者が具体的にいつになったら借りられるのかを目で見てわかる形で提示する。
- 自分の使っているもの、相手の使っているものの境界を明確にする。